

西国巡礼慈悲の道

西国第二十七番

書寫山

圓教寺

観音様を拝む

山主 大樹孝啓



世の中は「見えるもの」と「見えないもの」があります。「見えるもの」は目で見えるから問題ありませんが、「見えないもの」の存在を確認することが問題です。電波や放射能等は技術的に器械によって確認できます。最も問題なのが「神仏」です。無神論者を得意げに語る人もいるくらいです。しかし、観音様と地藏様は美しい・やさしいお姿で作られて目にするこ

とが多いのでよく知られていますが、そのお力を知らない人の方が多いように思われます。観音様の事については観世音菩薩普門品（略して観音経）に説かれていきます。その最後のところに「慈眼をもつて衆生を視たまう
福聚の海は無量なり
この故に頂礼すべし」と示されています。声に出しては勿論、声に出

さなくても、絶えず常に心に観音様を描き、祈り続けて、智慧と慈悲の心で生活する事が大切と考えています。これが「念彼観音力」です。そうする事が観音様のお導きやお助けを知る事が出来ます。そうしないと、折角の観音様のお慈悲を知る事が出来ません。観音様のお慈悲を知る事で観音様と「感応道交」で、通じ合って念ずる力も益々強くなるでしょう。

西国三十三所の巡礼が一千年以上も続いている事も多くの人がそのお慈悲を信じられている事がその証拠ではないでしょうか。又、いろいろな姿にもなって接して下さいます。私の周りの人が観音様と認識すれ

ば、皆が大切であり、布施の心で接されます。そうならば、立派な「在家の菩薩」と云える事と思います。

「南無大慈大悲観世音菩薩」



西国第二十七番

えんぎょう じ
書寫山 圓教寺

天台宗

御本尊／六臂如意輪觀世音菩薩 開基／性空上人

はるばると ^{のぼ}登れば書寫の ^{しよしゃ}山おろし
^{まつ}松のひびきも ^{みのり}御法なるらん



✳ 主な年中行事 ✳

- 1月18日 修正会○
 2月8日 花山法皇御忌
 3月6～9日 法華經不斷読誦会○
 3月10日 開山忌○
 4月10日 上人会○
 5月28日 勸学会 法華八講
 8月9日 四万六千会
 5月連休、11月後半（いずれも3日程度）
 文化財特別公開

○印は御開帳日

観音風光

立木観音とも言われる生木尊を直々に参拝された有名な方がお二人いらっしゃいます。天禄元年の性空上人造立以来、秘仏となっていた生木観音を勅命で開扉参拝された後白河法皇。そして弘安2年、後宇多天皇の勅願によって七間四面に改築新装直後の弘安10年には、一遍上人が参詣され、播磨行脚は偏に、如意輪観音に出合うこととされています。

ご詠歌の意味

嵐の中花山法皇は1002年、性空上人を訪ねて2度目の行幸をされた。豪雨で橋が流されるほどであった。しかし法皇は性空上人にまみえる喜びに満ち溢れていた。それゆえ叩きつける雨も吹き荒れる風も一行はものとしなかった。法皇の耳には、悲鳴を上げる木々も唸る山の恐ろしい音でさえ仏の声のように聞こえていた。

〒671-2201 兵庫県姫路市書写2968

TEL 079-266-3327 / FAX 079-266-4908 <http://www.shosha.or.jp>

納経時間 書写山ロープウェイ運行時間

西国三十三所札所会ホームページ <http://www.saikoku33.gr.jp>

西国霊場にご参拝の時は納経帳や白衣を忘れずにご持参ください。2回目以降はご参拝の印として重ねて納経印をいただきますよう。